

令和元年 10 月 8 日

経済調査室 市場情報課 田頭浩二

エイチ・エス 銘柄レポート

AI CROSS 株式会社

「SMS メッセージングサービス、ビジネスチャットサービス、
AI Analytics サービスの開発・提供」

コード番号： 4476 主要上場市場：マザーズ市場

- ビジネスコミュニケーションプラットフォーム事業
- メッセージングサービス開発・運営
- ビジネスチャットサービス企画・開発・運営
- AI Analytics サービス企画・開発・運営

事業の内容 SMS メッセージングサービス、ビジネスチャットサービス、
AI Analytics サービスの開発・提供

市場区分 東京証券取引所 マザーズ市場

代表者の役職氏名 代表取締役社長 原田 典子

1単元の株式数 100株

当社は「Smart Work, Smart Life」の理念のもと、AIなど先進のテクノロジーや第5世代(5G)移動通信システムを活用して、企業のさらなる業務効率向上と、働く従業員の多様な働き方の革新を支援するテクノロジーカンパニー

◎最近の業績動向

決算年月	売上高 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当り 純利益(円)	1株当り 純資産(円)
2015年12月期	164	-47	-47	-18.69	-6.73
2016年12月期	392	-26	-26	-8.87	-17.55
2017年12月期	574	0	3	1.02	75.03
2018年12月期	1,120	95	87	26.07	101.10

(*) 上場時発行済株式数3,850,000株(予定) (会社資料より)

(*) 2016年12月期までは「会社計算規則」の規定により算出。2017年12月期よりEY新日本有限責任監査法人の監査を受けている。

(*) 設立及び吸収分割による事業継承のため2015年12月期は2015年3月10日から2015年12月31日の10カ月間

(*) 2019年7月1日付で1株を50株に分割を実施。

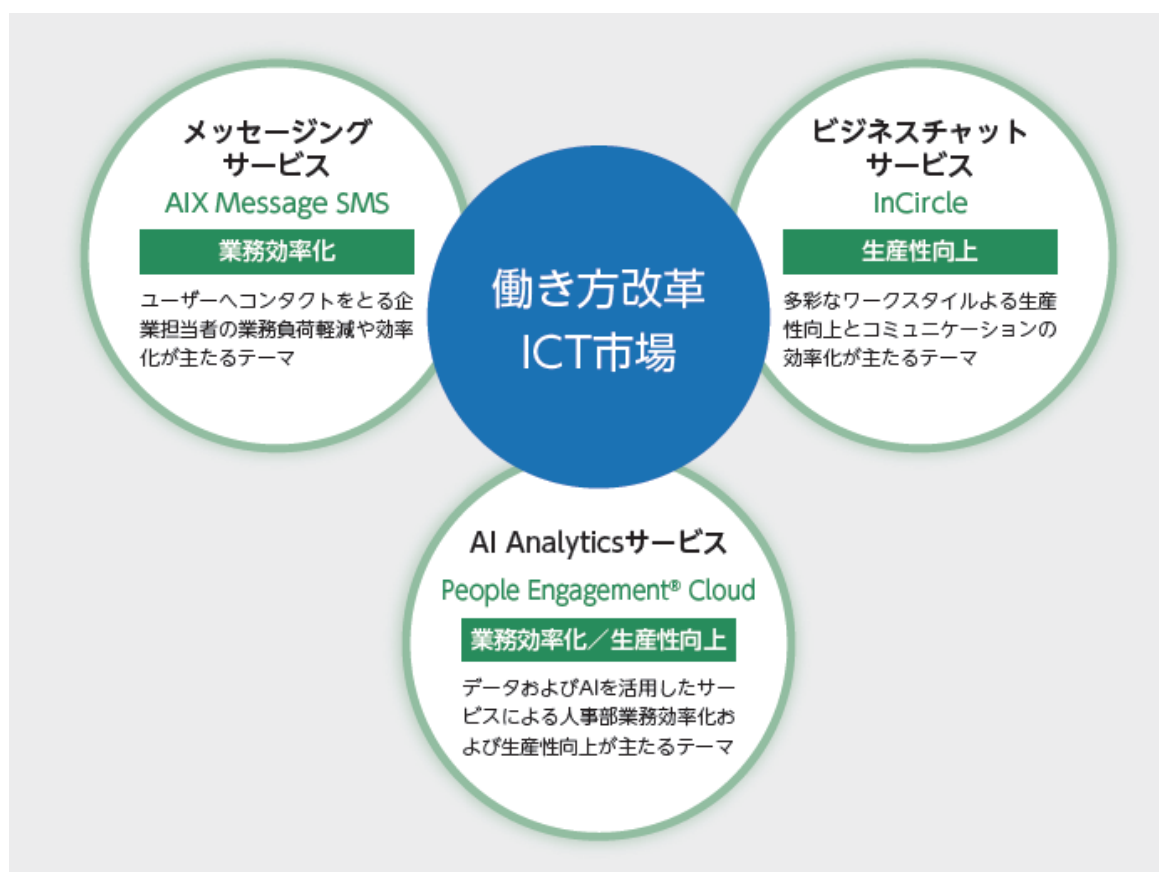
(*) 1株当たりの数値は分割修正後の数値。

●事業の内容

生産性向上に資するサービスを展開しており、企業向けに、コミュニケーションを通じてEngagement（約束，契約，誓約）を高めるためのビジネスコミュニケーションプラットフォーム事業を行っている。

Engagement を高めるために、①顧客企業とエンドユーザーの保有するモバイル端末とのコミュニケーションを高めるための「メッセージングサービス」、②顧客企業内のコミュニケーションにフォーカスする「ビジネスチャットサービス」及び③その他のサービスとして当該コミュニケーションの品質向上のためのAIによる分析等を行う「AI Analytics サービス」等を提供している。

「Smart Work, Smart Life」の理念のもと、働き方改革 ICT市場をコアターゲットとしており、現在はメッセージングサービス、ビジネスチャットサービス、AI Analytics サービスにて事業を展開している。



出所：会社資料より HS 証券作成

AIX Message SMS

① メッセージングサービス

メッセージングサービスは、主にB2Cビジネスを営む国内外の事業者に対して、エンドユーザーの保有するモバイル端末にSMS（注1）の配信を行うための配信プラットフォームサービス。

SMSは、電話、メール、DM（郵便）などの従来のコミュニケーション手段に比べて、比較的安価な費用で一般消費者とのコミュニケーションが行えることから、様々な用途で利用されている。

企業のニーズに合わせて、双方向のSMS配信（注2）が可能な機能や、配信者情報を表記する機能、決済機能、自動応答機能など、柔軟な提案を可能にするプランを取り揃えている。

当社と契約した顧客企業は、当社の配信管理画面を操作またはAPI（注3）により携帯電話事業者の回線を介して一般消費者の持つ携帯端末にSMSを配信することが可能。APIにおいては、SMS専用プロトコルであるSMPP（注4）接続も可能となる。

ビジネスモデルは、顧客企業、販売会社（以下「販社」という。）、アグリゲーター（注5）と契約締結し、初期等のカスタマイズ料と配信通数等に応じた月額の利用料の収益を計上し、携帯電話事業者に対するSMS配信に係る利用料とサーバー利用料等を費用に計上する。

携帯電話事業者が認める正規配信ルートによりSMS配信サービスを提供するにはすべての携帯電話事業者（注6）と直接契約締結する必要があり、当社は直接契約を締結している。

また、SMSの次世代規格ともいわれるRCS（注7）について、法人向け+メッセージ（注8）配信サービス「AIX Message RCS」の無料トライアル受付を2019年5月に開始した。（本サービス提供開始時期は未定。）

AIX Message SMS

メッセージングサービス AIX Message SMS

法人向けSMS配信サービスによる省力化により、一般顧客をユーザーに持つ日本企業のプロセスイノベーションを実現し、企業の業務効率化を可能にする。



市場寡占性

国内正規SMSの配信を行うためには、携帯キャリア3社との直接接続契約を行う必要がある。



企業業務の効率化

本人認証や紙DM、ユーザー決済など負荷の多い業務の置き換えにより、企業の業務効率化を実現可能。



ソリューション提案力

用途開拓をおこなった結果、7種類のサービスプランまで拡大したため、企業の様々な課題に対応可能。

業界とシェア率一例 (*)

業界/シェア率		
生・損保/証券 48.0%	サービス 45.2%	公共 35.2%

(*) 出典：ミック経済研究所「ミックITレポート2018年8月号『2022年までの年平均成長率（CAGR）40%以上のA2P-SMS市場』P.21 AI CROSS 2017年度 業種シェアより」『サービスは「運輸・倉庫・鉄道・船舶・空港、バス・タクシー、ホテル・旅館・娯楽施設、旅行・レジャー』を指す）

出所：会社資料より HS 証券作成



② ビジネスチャットサービス

ビジネスチャットは、企業における業務連絡やビジネス上のコミュニケーションを行うための利用を想定したサービス。

自社及び外注先を活用して、ビジネスチャットサービスである「InCircle」を提供。当該サービスを顧客に直接販売、または販社を介して顧客に間接的に販売している。

「InCircle」は、シンプルな操作性に加えて、端末、通信経路、サーバーと三段階にわたって暗号化されており、セキュアなビジネスチャットになっている。サービスの提供形態としては、SaaS版（Software as a Service）によるサービスの提供の他、顧客企業の保有するサーバーにインストールして利用するオンプレミス型、OEM提供がある。

また、「InCircle」はチャットボット機能を活用し、文書管理アプリや名刺管理アプリ等、外部のさまざまな業務ツールと連携しており、これらの機能を活用することによって、日々の業務を効率化することができる。



ビジネスチャットサービス InCircle

どこにいても働ける環境の創出はもちろん、「誰でもすぐ使えるビジネスチャット」だから、社員のITリテラシーに依存せず、全社的な生産性向上の取り組みを可能にする。



シンプル

さまざまな年齢やIT知識レベルの全従業員が「誰でもすぐ使えるシンプルさ」。



セキュリティ

端末、通信、サーバーへの3段階の暗号化に加えて、強力な管理機能を搭載。



多様なインフラ

AWSやAzure(クラウドサーバー)のほか、オンプレミス版の選択が可能。

出所：会社資料より HS 証券作成

③ AI Analyticsサービス

当社は、AI技術を活用したEngagementを高めるための研究を行っている。

この研究をもとに、ビジネスチャット上に蓄積されたメッセージデータや HR 関連データの分析を行い、離職率の低下・ハイパフォーマーの発掘・効率的なチーム構成支援等、業界固有の課題に特化した AI Analytics の開発・提供を構想。2019 年 3 月より某人材派遣大手に対して離職防止ソリューションサービス「People Engagement Cloud」の提供を開始した。

当該サービスは、顧客企業にあるビジネスチャットのメッセージデータを当社 AI エンジンによって分析し、スコアを算出してファイルを提供することで、顧客企業の課題解決につながる提案をしている。

当該ビジネスモデルは、導入・カスタマイズによる収入とライセンス数などに応じた月額利用料を収益計上しており、サーバー利用料等を費用として計上している。

People Engagement® Cloud

AI Analyticsサービス People Engagement® Cloud

蓄積したチャットデータをAI分析エンジンで総合的に分析することで、従業員の離職リスクを可視化し、離職の未然防止を効率化する。



チャットデータ分析

自社チャット利用企業のログデータをビッグデータ化し、複数要因での多重分析を実現。



継続的な精度向上

実企業のデータを活用することで、随時アップデートを実施。継続的な精度向上によりデータを入れれば入れるほど学習。



杉山 将 氏による監修

理化学研究所革新知能統合研究センター長で、日本の統計的機械学習の基礎研究分野の第一人者「杉山 将」氏監修のもと、日本企業の離職特性に合わせた分析用 AI エンジンの開発・改良を推進

出所：会社資料より HS 証券作成

AIX Message RCS

企業向け+メッセージ配信代行サービス「AIX Message RCS」発表
KDDIユーザー向け無料配信トライアル募集開始

「AIX Message RCS」は、携帯電話番号を利用した動画や音声、画像、スタンプなどを含めた直感的なコミュニケーションをおこなうことが可能な+メッセージについて、法人としての「新たなユーザーコミュニケーションツール」として利用することを可能とした、今まで以上に効果的にユーザーへのエンゲージメントを実現するサービス。

「+メッセージ」とは？

+メッセージとは、GSMAで世界的に標準化されているRCSに準拠したKDDIを含む携帯3キャリアが中心となって提供するメッセージサービス。

携帯電話事業者を意識することなく、顧客同士で電話番号を宛先にして、動画や音声などのリッチコンテンツのほか、画像やスタンプ、最大2,730文字のメッセージなどの送受信が可能になり、法人向け機能の拡充により、企業にとって「全く新しいユーザーコミュニケーションの実現」を可能にするデジタルツールとして注目されるサービス。

RCS (Rich Communication Services)

AIX Message RCS

メッセージングサービス AIX Message RCS

2020年に開始予定の5G（第5世代移動通信システム）に伴い、電話番号だけで動画・画像・音声データなど大容量データのやり取りが可能になるSMSの次世代規格・RCSの法人利用拡大が想定される。法人向けRCS配信プラットフォームの提供を開始することで、画像や動画など集積・分析するデータの種類をさらに拡大。企業のユーザーコミュニケーションの効率化および深化を促進する。



リッチコンテンツ配信

電話番号のみで動画や画像、音声などリッチコンテンツの送信が可能。



ワンストップ提供

企業からユーザーへのRCS配信にかかる作業をワンストップで実現可能。



ソリューション提案力

SMS配信代行や配信環境提供の中で培った実績から企業毎のニーズに合わせた最適な提案を実現。

出所：会社資料より HS 証券作成

用語説明

(注 1) SMS : ショートメッセージサービス。相手先の電話番号だけで文字情報を送受信できるサービス。

(注 2) 双方向の SMS 配信 : 企業から一般消費者への一方的な SMS 配信だけでなく、一般消費者からの返信が可能な配信。

(注 3) API : アプリケーションプログラミングインターフェース。ソフトウェアが連携することが可能になる仕様。

(注 4) SMPP : Short Message Peer-to-Peer。ショートメッセージデータを転送するための業界標準プロトコル。

(注 5) アグリゲーター : SMS 配信需要をとりまとめて、大量の SMS 配信を行う企業であり、主に海外アグリゲーター。

(注 6) 携帯電話事業者 : 株式会社 NTT ドコモ、KDDI 株式会社、ソフトバンク株式会社などの携帯会社。

(注 7) RCS : Rich Communication Services。GSMA (注 9) で世界的に標準化されている次世代メッセージングサービスの国際規格。

(注 8) +メッセージ : KDDI、NTT ドコモ、ソフトバンクの携帯 3 キャリアが中心となって提供する、RCS に準拠した次世代メッセージングサービス。電話番号を宛先にして、動画や音声などのリッチコンテンツのほか、画像やスタンプ、最大 2,370 文字のメッセージなどの送受信が可能になり、法人向け機能の拡充により、企業にとって全く新しいユーザーコミュニケーションの実現を可能にするデジタルツールとして注目されるサービス。

(注 9) GSMA : 携帯通信事業者の業界団体「GSM Association」の略称。2G の通信方式「GSM」の普及を目的として 1995 年に設立され、約 800 社の携帯電話事業者を中心に、220 か国から 1,000 社以上が参加している業界最大の団体。

【ご投資にあたって】

本レポートの記載の内容を参考にして国内金融商品取引所に上場する株式（売買単位未満を除く）を営業店でお取引をされる場合、約定代金に対して最大 1.0476%（税抜）（ただし約定代金の 1.0476%に相当する額が 3,000 円に満たない場合は 3,000 円（税抜）。手数料率等は取引チャンネルにより異なります。）の委託手数料をご負担いただきます。

また、株式相場、金利水準、不動産相場、商品相場等の価格の変動等及び有価証券の発行者の信用状況（財務・経営状況含む）の悪化等、それらに関する外部評価の変化等により損失が生じるおそれ（元本欠損リスク）があります。信用取引などを行う場合には、対象となる株式等または指標等の価格変動により損失の額がおお客様の差し入れた委託保証金などの額を上回るおそれ（元本超過損リスク）があります。なお、商品毎に手数料及びリスク等は異なりますので、当該商品の目論見書及び契約締結前交付書面をよくお読みください。

【免責事項】

■本レポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されたものですが、エイチ・エス証券はその正確性、完全性、適時性を保証するものではありません。

■本資料に基づき投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、エイチ・エス証券は、理由の如何を問わず責任を負いません。

■本資料は、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の銘柄等の勧誘、売買の推奨または相場動向の保証等を行なうものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、本資料をお客様ご自身のためにのみ、お客様の限りでご利用ください。なお、当社の事前の承諾なく、本資料の全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

【利益相反情報について】

■当社および関係会社又はその役職員は、本資料に記載された証券についてポジションを保有している場合があります。また、本資料に記載された会社に対して、引受等の投資銀行業務、その他のサービス提供の勧誘を行なう場合があります。

■当社の役員（会社法に規定する取締役、監査役又はこれに準ずる者をいう。）が、以下の会社の役員を兼務しております。

：澤田ホールディングス、エイチ・アイ・エス、クリーク・アンド・リバー社

(商号等) エイチ・エス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 35 号

(加入協会) 日本証券業協会